

平成二十三年
いのち

生命の言葉

一月

ふりつもる み雪ゆきにたへて 色かへぬ
松ぞを、しき 人もかくあれ

昭和天皇

裏面もご覧ください。

一月
生命の言葉

ふりつもる雪にも耐えて色を変えない
松のなんと雄々しいことか。人もこのよ
うにありたいものだ。

『昭和天皇御製集』

昭和天皇 (しょうわてんのう)

一九〇一〜一九八九年。終戦の翌年、「松上雪」と題して詠まれた。戦時中の苦勞が雪のように降り積もり、そして、敗戦の悲痛にも耐え、国土を復興させようと立ち向かう人々の姿を、緑豊かな力強くたくましい松にたとえて、国民を励まされようとされた御歌。今の私たちに対しても、厳しい時代にあっても心は決して枯れてはならないことを思い起こさせてくれる。

紅梅の咲く頃のご参拝、皆さまの願い事はきっと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で 結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮